

タイトル募集中！

第8号 令和3年4月19日（月）

教科担任だからこそできる、複数で育てる環境！

「自信がない。」

思春期を迎えた子ども達。保護者の皆様は、今までの我が子と違った対応を迫られることもあり、悩むこともあるのではないのでしょうか？子ども達は、大人への階段を上り始めているのです。

「間違えたらどうしよう…。」

発表に自信がなさそうな子ども達。多くの子ども達が、この時期に感じる問題です。そんな時は、担任、担当で連携して子ども達の心に寄り添うようにしています。

「失敗しても大丈夫！」

思春期の子ども達は、どうしても間違ったときの周囲からの目線を気にします。しかし、成長するためには、チャレンジして新しい世界を開拓しなければいけません。

「子ども達は大丈夫かな？」

学級では、子ども達が安心して生活することができるように担任、担当が心配りをしています。

ご覧の写真は、算数科の担当が授業を進めている間、担任がその様子を見守っている様子です。



「タブレットを使って表現しよう！」

また、ICTを使うことで、子ども達の学習意欲を高めることもできます。

各教科の担当が工夫しながら学習意欲を喚起します。

担任と担当のチームワークで子ども達を多面的に見ることができるのも、教科担任だからできるのです。



今週も充実した1週間に…1時間を大切にする教科担任制



家庭科担当の深田先生は視覚的な支援をたくさん取り入れ、1時間で子どもたちが学ぶことができるように学習を組み立てています。社会科担当の富士先生は、クイズ形式やICTを取り入れ、子ども達の関心を高める学習を展開しています。



こちらは、算数科佐伯先生が「線対称」の学習をしているところです。教科書の内容にとらわれず、学習した内容を使って、オリジナルの模様作りに挑戦させています。



おもしろい作品ができればすぐさま投影し、全員で共通理解します。ほんの1時間ですが、子ども達は夢中になって学習に取り組んでいます。

見えないところで活躍！さすが高学年の子ども達



高学年の子ども達は、学校がよりよくなるように一生懸命働いています。1年生の教室のそうじ、や1階のトイレ掃除。タブレット端末の棚の環境整備、委員会活動での清掃など、積極的に行動する姿が見られるのは大変うれしいことです。今週も、このような姿が見られるように応援します。

